

展示 PICK UP

■2F パープルゾーン【江戸・東京】の本を集めたゾーン ~2020/1/17(金)

「劇場・映画の街 千代田」お薦めの本3選

新しく始まった展示「劇場・映画の街 千代田」の中から、観劇・鑑賞のお供になりそうな本3冊をご紹介します。



『宝塚歌劇』
永井咲季 著
平凡社
2015年



『バイリンガルで楽しむ歌舞伎図鑑』
君野倫子 著
小学館
2016年



『知っておきたい映画監督100 日本映画編』
キネマ旬報社 編
キネマ旬報社
2009年

■3F ブルーゾーン【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン ~12/13(金)

【ゲーム】

コンピューターゲームだけでなく、囲碁・将棋、カードゲーム、サッカーなどの球技はもちろん、マネーゲームや恋愛も含めた幅広い「ゲーム」の資料を集めました。体力・分析力・対人能力など各ゲームの攻略に必要な要素をレーダーチャート化し、独自に分析しています。また、当館で開催している「大人のボードゲーム部」について、図書館でボードゲームを行う理由や、これまでの活動をパネルで紹介しています。



『現代ゲーム全史』
中川大地 著
早川書房
2016年



『マルセル・デュシャンとチェス』
中尾拓哉 著
平凡社
2017年

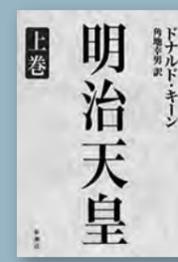
■3F エレベーターホール【ガラスケース】 ~10/26(土)

日比谷カレッジ『ドナルド・キーン追悼企画』関連展示
ドナルド・キーンが遺したものと日本語教科書

日本文学や日本の文化の素晴らしさを世界に広く伝えることを生涯の仕事としたドナルド・キーン氏。それはどのように成し遂げられたのか。キーン氏の功績を振り返り、「未来に何を遺したのか?」「あの日本語力はなぜ、どうやって獲得できたのか?」に焦点を当て、米海軍で使用したものと同じ日本語教科書の複製版や著作などを展示します。
協力:ドナルド・キーン・センター 柏崎、河路由佳



左)『標準日本語讀本』
右)「ドナルド・キーン 日本文学研究の樹」など



『明治天皇』
上巻・下巻
ドナルド・キーン 著
角地幸男 訳
新潮社
2001年



『ドナルド・キーン自伝 増補新版』
ドナルド・キーン 著
角地幸男 訳
中央公論新社
2019年

EXHIBIT INFORMATION

10月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン
「劇場・映画の街 千代田」(〜2020/1/17) NEW!
数多くの劇場や映画館を有する千代田区。政治や経済の中心地としてではなく、宝塚や歌舞伎、映画の魅力がたっぷり詰まった、劇場・映画の街としての千代田区をご覧ください。

2F パープルゾーン
三角台
「備える」(〜9/30)
災いはある日突然やってきます。日頃から知識や情報を集めておくことは、必要な心がけのひとつです。自然災害だけでなく、人間が作り出すさまざまな危機を想定して備えておきましょう。

3F グリーンゾーン
「食ー令和Ver.ー」(〜10/18)
グリーンゾーンには新たに、食品や料理に関する本が多数入りました。そこで、「食のUP DATE」と銘打ち、皆様に手に取ってもらえるよう展示し紹介しています。また、未来型食材や現代の風潮にあった食生活の紹介も行っています。

3F エレベーターホール
日比谷カレッジ「飢餓のない世界を目指して」 NEW!
〜WFP広報官が伝える飢餓の今、支援の今 関連展示(〜10/20)
10月16日は国連が定めた「世界食料デー」。10月2日に開催するカレッジと合わせて飽食の日本では実感しづらい「飢餓」や、大量の食品廃棄などの社会問題を考えます。

● 千代田図書館企画展示 ●
書評キャンパス
「いまだきの大学生 解体新書」
大学生はどんな本を読んで、何を感しているのか? 「週刊読書人」と連携した大学生による書評のほか、関連テーマの本や、現代の若者について書かれた本などを、会期を3期に分けて約150冊ずつ展示します。
【参加予定大学】大妻女子大学、共立女子大学、上智大学、専修大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、日本大学、明治大学 ※会期毎に変更
会期 開催中〜11月23日(土) ※10月27日(日)は休館
会場 千代田図書館9階 展示ウォール

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

予告 日比谷図書文化館《特別展》
鹿島茂 コレクション
アール・デコの造本芸術
—高級挿絵本の世界—

バルビエ、マルティ、マルタン、ルパップ—アール・デコ四天王の作品が一堂に—
20世紀初頭、アール・デコ時代に、革新的なデザイン感覚を持ったイラストレーターと高度な技術を持った印刷職人とのコラボレーションにより次々と高級挿絵本が産み出されました。細部までこだわり抜いたその造本美は、デジタルが横行する今なお新鮮で、どこまでも美しく、見ているだけで至福の時を過ごすことができます。本展は、フランス文学者の鹿島茂氏が30年以上にわたって収集してきた膨大な数の個人コレクションの中から、アール・デコ四天王と呼ばれるバルビエ、マルティ、マルタン、ルパップによる挿絵本と、4人がそれぞれ関わったファッション・プレート合わせて100点あまりを紹介します。アール・デコの造本芸術の優美な世界をご堪能ください。

10/24(木) ~ 12/23(月)
※ 休館日: 11月18日(月)、12月16日(月)



OICI un nouvel album consacré aux belles modes et aux mœurs plaisantes. Nous le déposons sur l'autel du bon goût en le dédiant aux amateurs et aux curieux, aux amants du passé, à tous ceux qui recherchent les estampes étincelantes d'or et insaisissables de vernis où les costumes rustiques et citadins jouissent les yeux de leurs vives couleurs. Puisse-t-ils feuilleter ces pages sans ennui, ceux qui caressent pieusement les parures fanées, les dentelles jaunies, les rubans sans couleur, savourant le poison mélancolique exhalé de ces voluptueux débris. Nous voulons exhaler des cartons où ils reposent parmi le camphre et la poussière, le manchon, l'éventail et les gants, tout l'arsenal des beautés défuntes et jouer des airs nouveaux sur un instrument endormi. Nous ambitionnons le suffrage des savants aimables possédés d'un démon fantasque. Jadis grâce au bachelier Zambullo il s'évada de sa prison de cristal, et depuis ce temps, tourmente le cœur des femmes et modèle leur corps suivant les caprices de la mode. Il est l'inventeur des corsets, des fards, des souliers à talons, il enroule autour des belles les pampilles, les gelots et les festons, emblèmes de leur humeur inconstante; grâce à lui, le vieux fichu deleur garde la forme d'un sein juvénile, et les colthurnes usés l'empreinte du pied le plus mignon; c'est un diable artiste et poète. Parfumés de poivre et de lavande, les fantômes légers surgissent des tiroirs ou se lèvent entre les feuilles des livres de modes, ces précieux gardiens des grâces surannées. Possédez-vous le premier de tous: Recueil de la diversité des habits qui sont de présent en usage? Richard Breton le publia à Paris en 1567. On y admire la représentés au naturel en des bois rudes et charmants: grands maîtres daignent enseigner l'élégance à leurs ne sont qu'astrogales, rivient les enrubannées comme l'arbre de Mai et les parisiennes de ont un air de délicatesse dédaigneuse, des tailles fines à fièvre. Elles évoquent sous la ceresse des satins où jouent jets d'eau, des confidences faites à regret, des amours et Mantiers: Debucourt, enchanta le dix-huitième de perkale et de zéphyr, troussant leurs falbalas, Les délices de l'ère nouvelle. Floreal! Les têtes volent sur des coeurs sensibles; ces sur leurs visages la flettrissure délicate du vident les bonbonnières. Ce ne sont et anguilles saisies toutes vives. dans Justine et la nuit des couples bocagers. Vernet, ils nous donnent!



本展のみどころ
◎ アール・デコ四天王、バルビエ、マルティ、マルタン、ルパップによる煌びやかなイラストレーションとデザインを一堂に紹介します。
◎ フランスのアール・デコ期ならではの、他のヨーロッパ諸国のデザイン動向とは一線を画した優麗な世界を展望します。
◎ 鹿島茂氏著書『アール・デコの挿絵本:ブックデザインの誕生』をもとに、アール・デコの挿絵本がどのように造られているのか、その造本の美に迫ります。

関連イベント
講演会「アール・デコの挿絵本〜活字とイラストの総合芸術〜」
◎ 日時: 11月23日(土・祝) 13:30~15:00(13:00開場)
◎ 会場: 日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
◎ 講師: 鹿島茂(フランス文学者・評論家、明治大学国際日本学部教授)
◎ 定員: 200名(事前申し込み順、定員になり次第締切)
◎ 参加費: 500円
【お申込み方法】 ホームページの申込みフォーム、電話(03-3502-3340)、来館(1階受付)のいずれかにて ①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2019年10月							2019年11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

■お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL: 施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

access
〔都営地下鉄〕
●三田線「内幸町駅」
A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
●丸ノ内線
●日比谷線
「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分
●千代田線
「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

10・11月の講座

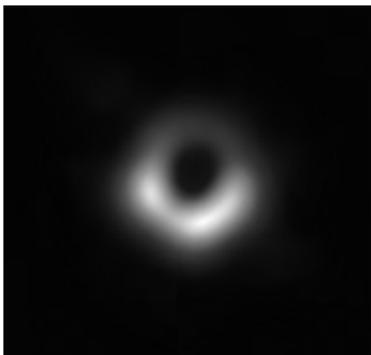
〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

10/2 (水) 人類が初めて見た銀河中心の巨大ブラックホール

講師：紀 基樹(工学院大学学習支援センター 講師)

2019年4月、イベントホライズンテレスコープ(EHT)による史上初のブラックホール撮影のニュースが大きな話題となりました。本講演では、EHTコラボレーションメンバーの紀基樹氏が、ブラックホール撮影までの軌跡、画像が示す物理的意味、更なる挑戦についてわかりやすく紹介します。



©EHT collaboration

- 日時:10月2日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

10/10 (木) 活字のかたち鑑賞会 その3 鳥海 修さんの書体のつくりかた

講師：鳥海 修(書体設計士)

書体設計士である講師に、本文書体の作り方・考え方という視点から、本と文字のおおまかな歴史、日本語の構造と書体とその作り方、最近のトレンドとなっている書体の基本的な知識をお話いただけます。さらに、その手順やポイントの解説とともに、実際にひらがな一文字をレタリングする工程をご覧ください。



- 日時:10月10日(木)19:00~21:00(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

10/17 (木) 変化する世界の食料・農業情勢—今後、私たちの食卓はどうなるのか

講師：上林 篤幸(農林水産政策研究所 上席主任研究官)

約一万年前に狩猟生活から農耕牧畜生活に移行した人類。以来たゆまぬ努力により食料の生産は増加し、現在76億人の人口を養っています。今後も続く人口増加や気候変動などの諸課題を克服し人類は必要な食料を確保できるのでしょうか。世界の食料の現在までの推移を概観し、その未来の行方を考えます。



- 日時:10月17日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

10/18 (金) ドナルド・キーン追悼企画 第2弾 ドナルド・キーン日本語

講師：河路 由佳(日本語教育研究者)

今年96歳で天寿を全うされた日本文学研究者のドナルド・キーン氏は、なぜ、単独で『日本文学の歴史』全18巻を著すほどの日本語力を獲得できたのか。講師の調査研究からその謎に迫ります。日本語の不思議、グローバル時代の日本語学習に光を当てます。(協力：ドナルド・キーン・センター柏崎)



ドナルド・キーン

- 日時:10月18日(金)19:00~20:45(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円(学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

10/20 (日) アフリカのバラが運ぶ幸せの連鎖

講師：萩生田 愛(AFRIKA ROSE代表取締役)

強く、大きく、色鮮やかで生命力にあふれたアフリカ・ケニアのバラ。環境に配慮し、児童労働がないと確認できた農園と契約しアフリカのバラの輸入・販売を営む講師から、そのきっかけや現地でぶつかったさまざまな問題、そしてバラに溢れる生活やバラを贈る文化を日本で広める活動についても伺います。



- 日時:10月20日(日)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

10/24 (木) 外国人のニッポン観光150年史 明治の「おもてなし」から令和の「観光立国」への軌跡

講師：内田 宗治(フリーライター/元ブルーガイドシリーズ編集長)

この数年、日本への外国人旅行者が激増中です。政府は経済の一つの柱とするべく観光立国を標榜しています。明治時代以来、外国人が日本で「見たいもの」と、日本人が「見せたいもの」とは、微妙に異なってきました。外国人によって「発見」された日本の観光地もあります。観光立国のあるべき姿を歴史的に考察します。



箱根宮ノ下全景。外国人専用だった頃の富士屋ホテル(写真奥の高台)。明治中期(横浜開港資料館蔵)

- 日時:10月24日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:60名 ■ 参加費:1000円

10/25 (金) 『リア王』の哲学的世界—伝わらない思いと価値観のずれ

講師：河合 祥一郎(日本シェイクスピア協会会長)

『リア王』の根底には、人文主義、ストア哲学、新プラトン主義といった様々な思想哲学が流れています。この講演では、それらを初心者でもわかるように解説しながら、この悲劇の奥深さを探ります。『リア王』が現代に通じる悲劇であることを、英文の朗読を交えて、確認していきましょう。



- 日時:10月25日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:200名 ■ 参加費:1000円

10/26 (土) 日比谷カレッジ×広辞苑大学 福岡伸一さんと探そう 進化のことはば

講師：福岡 伸一(生物学者)

環境に合わせて見かけや性質を変えて生き残る。そんな生命の不思議を説明した絵本『ダーウィンの「種の起源」はじめての進化論』に登場する「進化のことはば」に注目して、広辞苑を引きながら、講師と一緒にダーウィンの世界をのぞいてみませんか？(協力：広辞苑大学実行委員会)



- 日時:10月26日(土)14:00~16:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:50名 ■ 参加費:大人(高校生以上)1000円、小人(中学生以下)500円 ※中学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。推奨参加対象:小学生から

10/31 (木) 人工衛星によるリモートセンシングの最前線 ~地球観測衛星「だいち」シリーズによる災害対応と防災活動~

講師：度會 英教(JAXA第一宇宙技術部門 先進光学衛星プロジェクトチーム ファンクションマネージャ) 山本 彩 (一般財団法人 リモート・センシング技術センター 研究開発部 部長)

災害対応や防災に関する意識が高まる中で、人工衛星の眼がどのように地球を見守っているのか。今後はどのように進展していくのか。人工衛星を使った災害対応と防災について、人工衛星の開発とデータ活用の最前線を、開発者と研究者から伺います。



©JAXA

- 日時:10月31日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

11/9 (土) 上廣歴史文化フォーラム 大奥に生きた女性たち

講師：渋谷 葉子(徳川林政史研究所研究員)、吉成 香澄(徳川林政史研究所研究員)、高田 綾子(徳川林政史研究所研究生)

大奥はテレビドラマになるほど人気のあるテーマですが、イメージが先行しており、必ずしも実態が正確に伝わっているとはいえません。この講座では、確実な史料に基づいて、大奥に生きた女性の生き方や役割を、徳川林政史研究所の気鋭の研究者が説き明かします。(主催：公益財団法人上廣倫理財団、協力：徳川林政史研究所、共催：日比谷図書館)



『千代田之大奥 神田祭礼上覧』 国立国会図書館 蔵

- 日時:11月9日(土)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:500円(千代田区民・学生無料) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

11/17 (日) 「ぼくの村」から「東京」へ ~絵本作家小林豊さんの旅と作品~

講師：小林豊(絵本作家) 聞き手：小樫浩子(ポプラ社)

旅で立ち寄った世界の村や人びと、そこで感じたあたたかい心を、独特な表現で描いてきた絵本作家の小林豊さんをお迎えして、旅、創作活動の源となった世界でのたくさんの出会いのこと、これまでの作品へ込めた思い、そして絵本作家として歩んできたこれまでの人生をお話いただけます。



- 日時:11月17日(日)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

◆古文書塾てらこや本講座◆

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開講します。

	講座名	曜日・時間	開講日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月)13:30~	10/7
		(金)13:30~	10/11
		(金)18:30~	10/4
	いろはの次 一大江戸大変	(月)18:30~	10/7
	いろはの次 江戸時代の海外知識	(金)10:30~	10/4

本科コース 120分	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土)13:30~	10/5
---------------	--------------------	-----------	------

特設月1回 コース	120分 『源氏物語 若紫』を読む【翻字者育成講座】	(土)14:00~	11/9
	90分 『源氏物語 若紫』を読む【異文を楽しむ講座】	(土)11:00~	11/9

特別講座 90分	大久保利通の手紙を読む	(火)19:00~	10/8
	浮世絵を読む	(水)10:20~	10/9
	開国ニッポンの外国人—教室で語る「ドキュメンタリー番組」	(水)13:30~	10/9
	商家文書を読みとく 一三井の子弟教育	(水)19:00~	10/9
	聖徳太子の伝説と真実—江戸の聖徳太子伝を読む	(木)10:30~	10/17
	江戸を楽しむ 江戸の寺社あれこれ	(木)18:30~	10/10
	江戸・明治の書状を読む—形式と内容、一歩から	(金)18:30~	10/11
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30~	10/5

- 会場:4階セミナールーム(会議室)、スタジオプラス(小ホール)
- 定員:各23名(申込順) ■ 【入門コース】【本科コース】各33,600円(全10回/各回120分/6か月。別途資料代1,000円)【特設・月1回コース】【翻字者育成講座】16,800円(全5回/各回120分/5か月。別途資料代500円)【異文を楽しむ講座】13,650円(全5回/各回90分/5か月。別途資料代500円)【特別講座】各13,650円(全5回/各回90分/3か月。別途資料代500円)※特設月1回講座には別途テキスト 国文学研究資料館蔵『源氏物語 若紫』(税抜1,400円2016年 新泉社)が必要です。(当館でのご用意も承ります。)※古文書塾てらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。
- お問い合わせ:03-3502-3340(古文書塾てらこや担当迄)

特別研究室企画展示

内田嘉吉文庫の地理書から知る古書の世界

~17-20世紀初頭の都市図を中心に~

●10月22日(火・祝)~12月28日(土) 無料

特別研究室では17~20世紀初頭に発行された都市図に魅力がある地理書、さまざまな挿絵が収められた航海記を中心に展示します。地図からわかる街の成り立ちや、当時の世界各地の様子が目の前に広がる挿絵など古書の面白さに触れてください。尚この企画展示の関連講座を11月に開催の予定です。詳細が決まり次第ホームページにてお知らせしますのでご覧ください。



出島(モンタヌス著『日本誌』/1669年)

Lunch Time Open Library

普段は入ることのできない日比谷公園の芝生エリアを、期間限定で一般の方に開放する「HIBIYA Shibafu de Café 2019」に参加します!日比谷図書館で役割を終えた本たち(リサイクル本)を公園でご覧いただけるスペシャルなイベントです。どんな本と出合えるかは当日のお楽しみ。気に入った本はお持ち帰りいただけます(無料)。いつもとは違うランチタイムを過ごしにいらしてください。

- 参加無料
- 日時:2019年10月3日(木)・4日(金) 11:30~13:30
- 場所:日比谷公園 第2花壇 ※雨天中止

- 日比谷公園「HIBIYA Shibafu de Café 2019」
- 2019年10月2日(水)~6日(日) ■ 各日とも10時~15時